



鼻孔は卵型で、目より吻端に近い。



尾は非常に長く、ものに巻き付けられる。興奮して尾をぜんまいのように巻いていることも多い。



四肢、尾、胴など、体はどこも細長い。



吻は扁平。

ハナブトオオトカゲ 〈吻が丸く、尾が長い〉

学名：*Varanus salvadorii*

外国語名：Crocodile Monitor, Salvador's Monitor, Forest Crocodile, Tree Crocodile, Papua Monitor, Papua-Waran

異名：クロコダイルモニター、サルバドールモニター、フォレストクロコダイル、ツリークロコダイル、パプアモニター

原産地：ニューギニア島

体長：最大全長 250cm±（頭胴長 75cm±）

類似種：コモドオオトカゲ

掲載種の原因国が日本に輸出するために発行した輸出許可数
(1975~2009年) : 502 個体

①頭部の形態

- ・ある程度育った個体は眼から鼻先にかけて盛り上がり、独特の顔つきになる。
- ・鼻孔は楕円形で、吻端近くに斜めに開く。

②鱗の形態、尾の断面の形

- ・尾はとても長く、尾率は 2.2 程度。
- ・尾は前方で断面が丸く、後方では側扁する。
- ・尾鱗は環状に配列しない（図 4A）。
- ・腹鱗に強いキールがあることと合わせ、樹上での滑り止めとして機能するようだ。

③体色と模様

- ・黒い地色に黄色い点模様が密に入り、胴の背面には黄色い水玉模様がある。

④類似種との比較

- ・全長 4 m を超える個体の記録があり、体長では世界最長のトカゲである。
- ・気が荒く、動物愛護管理法により**特定動物**に指定されている。
- ・顔つきはコモドオオトカゲにやや似るが、コモドオオトカゲは尾がずっと短い。



吻に厚みがあり、独特の顔つきをしている。



鼻孔は楕円形で、吻端近くに斜めに開く。



世界最長のトカゲであるが、全長の三分の二以上を尾が占めている。



体色は黒く黄色い斑点がある。

マングローブオオトカゲ 〈銀河のような無数の斑点〉

学名：*Varanus indicus*

外国語名：Mangrove Monitor, Pazifikwaran

異名：マングローブモニター

原産地：インドネシア、パプア・ニューギニア、オーストラリア北東部

体長：最大全長 125cm±（頭胴長 50cm±）

類似種：ミズオオトカゲ

掲載種の原因国が日本に輸出するために発行した輸出許可数
(1975～2009年)：2,862 個体

①頭部の形態

- ・眼上板がよく分化している（他のオオトカゲの多くはあまり分化しない）。
- ・鼻孔はほぼ円形で、吻端に近いが、吻端までの距離は目までの距離の 1/2 以下。
- ・舌の前半分は青い。

②鱗の形態、尾の断面の形

- ・体周鱗数は 110～183 列でミズオオトカゲよりも鱗が細かい（図 1）。
- ・尾は基部直後から側扁する（図 3B）。
- ・腹鱗は滑らかか弱いキールがある。

③体色と模様

- ・背面は黒い地色に淡黄色の細かい点模様が密にある。

④類似種との比較

- ・学名の *indicus* は「インド産の」という意味であるが、インドには分布しない。
- ・ワシントン条約の附属書 I 掲載種であるニシベンガルオオトカゲがインドオオトカゲと呼ばれることがあり、マングローブオオトカゲとの混同に留意する必要がある。